

輸出事業計画

申請者名：直源醤油株式会社

品目：醤油・醤油加工品

1. 輸出における現状と課題

●現状

- 2014年に米国ヘドレッシングの輸出をスタートしたことを皮切りに、中国や香港、シンガポールへ販路を拡大。中国へは「赤ちゃん用醤油」として、減塩で昆布だし入りの110mlの小容量ペットボトル、また香港へは希釈タイプのだしつゆや昆布しょうゆをそれぞれ定期的に輸出。
- 2019年にISO22000を取得後、2019年にフィンランド、2021年はフランス等への輸出を拡大し、現在は10カ国に向けて輸出している。

●課題

【製造】

- 醤油は濃口タイプよりグルテンフリーの需要が高まっており、より競争力があり現地で市場性の高いグルテンフリー醤油（小麦不使用）の提供が課題である。
- グルテンフリー同様にオーガニック（有機）やレスソルティ（減塩）、ヴィーガン（完全菜食主義）など健康に配慮した商品ニーズが高いため、個々のマーケットに合った商品の提案、メニューの提供を行うなどの対応が必要である。
- 各国マーケットの規制情報を踏まえ、個々のニーズに対応できるよう多品種小ロット等の生産体制を強化する必要がある。
- 米国等に販路拡大を求める場合、要求される法律や食品安全規制に対応し、「FSSC22000」等の高度な国際認証取得を見据えた対応が必要となる。

【物流】

- 金沢から東京、横浜、名古屋、神戸等への国内輸送費の負担が大きいため、価格面で商品の競争力が損なわれている。
- 常温流通の商品が基本であるが、夏季の色調劣化に対応するために低温輸送の対応を検討する必要がある。

【販売】

- 米国では現在は業務用市場のみであるため小売市場への参入が課題である。
- 醤油の場合は国内の大手メーカーや国内他産地との競合、また中国や韓国など近隣諸国の安価な商品との価格競争も起きており、何らかの対策が必要である。
- 展示会やP R活動ではメニューの提案が求められ、何にどう使うかなど調理シーンを写真や動画等で分かりやすく表現する必要がある。
- 海外のビジネスに対応できる人材育成のため、社内の教育プログラムなどの育成メニューの実施が課題である。

輸出事業計画

申請者名：直源醤油株式会社

品目：醤油・醤油加工品

2. 輸出事業計画の取組内容

【製造】

- ・ グルテンフリー醤油の製造体制を整え、より高いレベルでの品質を確保する。
- ・ オーガニック（有機）やレスソルティ（減塩）、ヴィーガン（完全菜食主義）など健康に配慮した商品について、消費者ニーズの把握を行ったうえで商品設計を実施しマーケットに投入する。
- ・ 2025年頃にFSSC22000を取得することを検討している。食物アレルギーについて、各国の基準に沿った品目を認識し、可能な限り専用器具を使用するなど、高度なオペレーションを徹底する。
- ・ 現在220種類程度の商品を製造しているが、海外専用商品の投入も含め、2024年には260種類程度の商品の製造を目指す。
- ・ 原材料の仕入れ先（サプライヤー）にも協力を仰ぎ、原材料の安全性を十分確認した上で納入し、国際基準のものづくりを徹底する。

【物流】

- ・ 石川県と協力しながら金沢港や北陸の拠点港湾を活用し、地元の港から輸出するテスト試験を実施し、2024年までにどのような問題点があるか検証する。
- ・ 商社と協議し、より安定した品質を確保するためにリーファーコンテナを活用することを検討する。
- ・ 商品の賞味期限をより長く設定するために製造方法などを含め、更なる品質の安定化、劣化を防ぐための対策を検討する。

【販売】

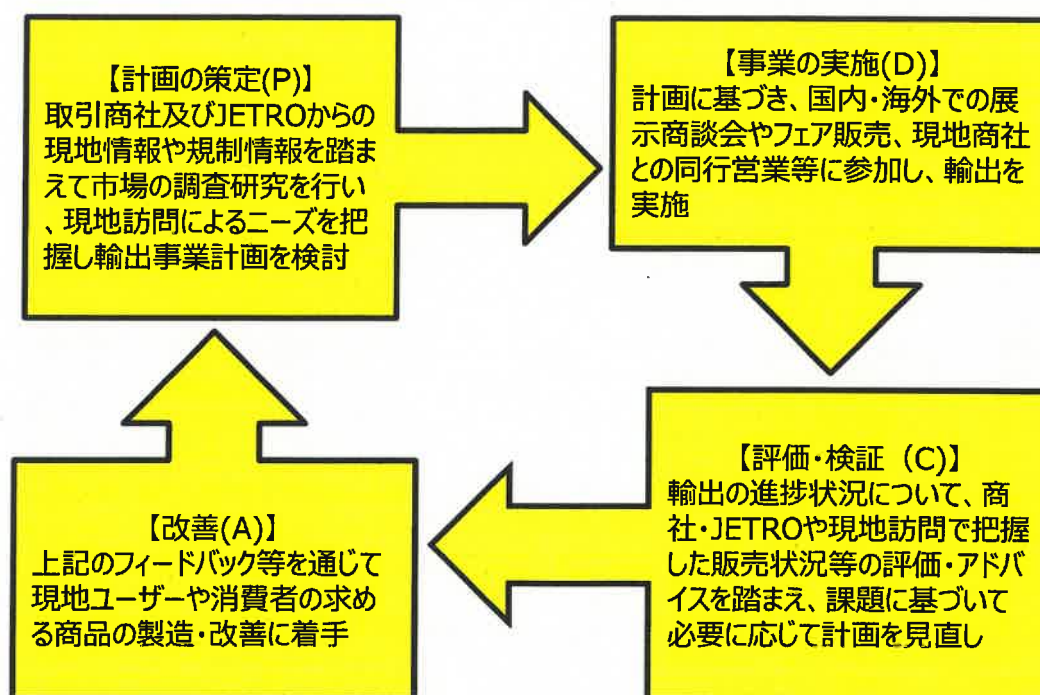
- ・ パートナー企業が全米に拠点を持ち、供給体制は整っているため、現地小売店やレストランと連携し、現地のニーズを確認しながら商品提案や売り込みを実施する。
- ・ 通販チャネルや業務用テイクアウト向けの商品を拡充する。
- ・ 価格訴求ではなく付加価値の高い商材を提供する（例：金沢の食文化の歴史、加賀料理との繋がり、他産地との違いなど）。
- ・ 商品と共にレシピやメニューを準備し、分かりやすく紹介する販促ツールを準備する。

輸出事業計画

申請者名：直源醤油株式会社

品目：醤油・醤油加工品

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

【醤油】

	【現状】 (2021年)	【目標】 (2026年)
輸出額	903万円	3,100万円
主な輸出先	中国、香港、台湾、フランス、ドイツ、ベルギー、ポーランド、フィンランド、イギリス	＜ターゲット国＞ 米国、EU（フランス、ドイツ、ベルギー、ポーランド、スペイン、フィンランド、スウェーデン） ＜その他＞ 中国、香港、台湾、イギリス

【醤油加工品】

	【現状】 (2021年)	【目標】 (2026年)
輸出額	486万円	2,400万円
主な輸出先	米国、香港、フランス、ベルギー、ポーランド、フィンランド、イギリス、シンガポール	＜ターゲット国＞ 米国、EU（フランス、ドイツ、ベルギー、ポーランド、スペイン、フィンランド、スウェーデン） ＜その他＞ 香港、イギリス、シンガポール

